

就職氷河期世代のための 就活キャリアアップ講座

Lesson.15 先輩に聞く、就活のポイント [就職氷河期世代支援窓口“卒業生”アンケートより]

ステップ1 自己理解 ステップ2 仕事理解 ステップ3 条件整理 ステップ4 求人選定 ステップ5 応募準備 ステップ6 職場定着

これまでに当ハローワークの「35歳からのキャリアアップコーナー（就職氷河期世代支援窓口）」を利用し、たくさんの方が就職されました。今回は、そんな“卒業生”のアンケートから、「就職活動で意識して取り組んだこと」「採用の決め手になったと思うこと」を紹介します。先輩たちの声は、きっと私たち同世代にたくさんのヒントをくれると思います。

- 年齢の数だけ不採用になる覚悟をして、はじめに証明写真や封筒・切手を40枚用意しました。選考結果が出る前に次の会社に応募して、「希望を絶やさない」ようにしました。

40代、デザイナー（派遣社員）→ 設計・組み立て（正社員）

- 性格や長所と短所などの自己分析をノートに書き出してみました。自分に合う職場がわかってきました。

40代、IT会社事務（派遣社員）→ メーカー営業事務（正社員）

- あがり症なので、面接では ①できるだけゆっくり話すこと ②声が震えても内容が伝わるように話すこと ③笑顔 を意識しました。

30代、通販会社事務（正社員）→ 信販会社営業事務（派遣社員・正社員登用予定）

- 合同面接会や会社説明会を利用して、できる限り多くの採用担当の方と話すようにしたことが決め手になりました。

30代、プログラマー（正社員）→ 製造技術（正社員）

- 職歴が多いので、履歴書・職務経歴書を見てもらいやすいように考えながら、応募先によって何パターンか用意しました。

50代、経理事務（正社員）→ 経理事務（正社員）

- 「まずはやってみる」という気持ちで活動するように心がけました。

30代、アパレル販売（正社員）→ 人材会社営業（正社員）

ハローワーク大阪東の「35歳からのキャリアアップコーナー」では、ワークシートを使った自己理解の支援や応募書類の添削、面接の対策、就職氷河期世代歓迎求人の情報提供、面接会・説明会の開催など、いろいろな支援をおこなっています。「まずはやってみる」という気持ちで、お気軽にご利用ください。